

## 2019春季生活闘争 構成組織取り組み方針(案)の概要

構成組織名	労済労連
方針決定日	2019年1月30日
要求提出日	2019年3月4日～8日(予定)
回答指定期	2019年3月25日～29日(予定)

要求項目	要求内容
<b>(1) 基本的な考え方</b>	
<b>(2) 賃上げ要求</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●月例賃金           <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別銘柄(年齢ポイント)ごとの「最低到達水準」「到達目標水準」</li> <li>・「賃金カーブ維持相当分(構成組織が設定する場合)」「賃上げ分」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全単組が必ず賃金カーブ維持分の原資を確保する</li> <li>・35歳ポイント所定内賃金の全単組平均額を到達水準として設定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●規模間格差の是正(中小賃上げ要求)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●雇用形態間格差の是正(時給等の引き上げ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全単組が必ず嘱託・パート等職員・社員の時給1,000円以上をめざす取り組みを展開する</li> <li>・時給1,000円を最低到達水準として設定</li> <li>・時給1,050円・連合リビンぐウェイジをめざす</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女間賃金格差の是正</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業内最低賃金・初任給           <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定の締結</li> <li>・適用対象の拡大</li> <li>・協定額の引き上げ</li> <li>・年齢別最低到達水準の協定化</li> <li>・初任給の引き上げ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全単組で取り組み、必ず金額を確認する</li> <li>・時給1,000円を最低到達水準として設定</li> <li>・時給1,050円・連合リビンぐウェイジをめざす</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●一時金           <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時金の要求基準等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活防衛の観点で、一時金を含めた年収ペースの維持にこだわる</li> </ul>

### (3) 「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

1. 長時間労働の是正
  - ・労働基準法改正をふまえた事業体の対応の確認(上限規制・年休時季指定付与)
  - ・36協定の締結および運用状況の検討・見直し
  - ・年間総実労働時間縮減に向けた取り組みの展開
  - ・ACTION！36の周知
2. 均等待遇の実現
  - 以下テーマを対象に、課題前進に向けた労使での意見交換の実施
  - ・正規職員・社員制度を参考にした賃金表の導入
  - ・一時金の制度導入

- その他
- ・人材育成と教育訓練の充実
  - ・中小企業・非正規労働者等の退職給付制度の整備  
など

### (4) 男女平等の推進

### (5) サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配／取引の適正化の取り組み

### (6) その他 ●上記に分類されない重要な取り組みがあれば記入

- ・育児のための短時間勤務制度の拡大
- ・介護休業制度の取得可能日数拡大
- ・障害のある子を養育する場合の短時間勤務制度の拡大